

バンダイグループの商品・事業展開で 「創聖のアクエリオン」世界観を訴求

株式会社バンダイ

(株)バンダイ〔本社：東京都台東区 / 社長：高須武男〕は(株)メディアファクトリー〔本社：東京都渋谷区 / 社長：芳原 世幸〕、(株)博報堂DYメディアパートナーズ〔本社：東京都港区 / 社長：佐藤 孝〕、(株)東北新社〔本社：東京都港区 / 社長：林田 洋〕の3社と共同で、オリジナルTVアニメーション『創聖のアクエリオン』(4月4日より放映開始 / テレビ東京系6局ネットにて 毎週月曜深夜1時～ほか)を製作いたします。バンダイは国内の商品化権窓口を務めると共に、自らも当作品のテーマである“合体”にちなんだ商品・事業展開を行います。

バンダイグループによる商品・事業展開

『創聖のアクエリオン』はバンダイグループ内では、グループ横断プロジェクト「コンテンツプロジェクト」が中心となり、テレビ放送や出版、音楽といった各メディア展開と連動をはかります。コンテンツプロジェクトはキャラクターやコンテンツの創出・育成を目的に 2003 年に設立され、様々なコンテンツの立ち上げに携わっている組織です。

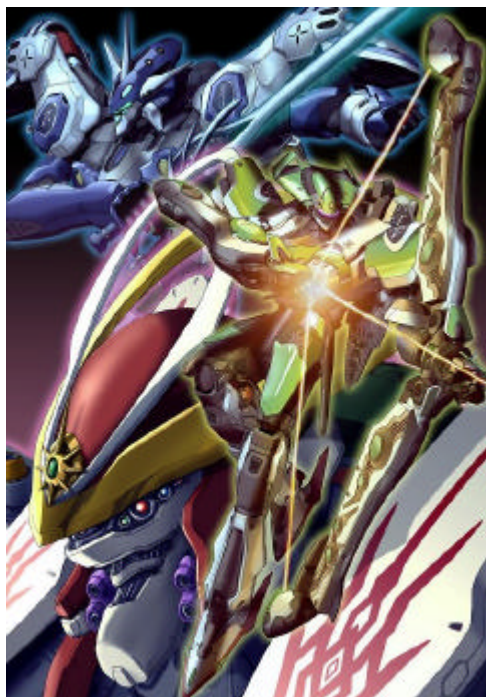
具体的には、バンダイより玩具(超合金 完全変形アクエリオン / 仮称・今秋発売予定)、ゲームソフト(プレイステーション2専用ソフト / 今夏発売予定)、自販機専用カプセル玩具(HGシリーズ / 4月発売)、アパレル(Tシャツ / 今春発売予定)、玩具菓子(フィギュア / 今夏発売予定)などを、バンダイネットワークス(株)〔本社：東京都千代田区 / 社長：大下 聡〕より Web サイト限定商品(エンターテイメントサイト“LaLaBit”での販売 / 時期未定)を発売します。このほかにも、バンダイネットワークスより携帯電話向けゲームコンテンツ(今夏予定)、(株)バンダイチャンネル〔本社：東京都台東区 / 社長：松本 悟〕よりアニメーションのプロードバンド配信(今夏予定)を実施し、『創聖のアクエリオン』の世界観訴求をはかります。(バンダイグループより発売予定の商品の一部は3月31日～4月3日に東京ビッグサイト東1・2ホールで開催される「東京国際アニメフェア 2005」のバンダイグループブースで展示を行う予定です)

【創聖のアクエリオン】あらすじ

創聖紀0011年の地球 人類は、すでにその人口の2/3を失っていた。11年前の大異変が原因である。南極の氷が溶解し、1万2千年前に滅びたはずのアトランディアが出現、翼をもつ“墮天翅族(だてんしぞく)”が蘇った。彼らは生体エネルギー“プラナー”を摂取するために“神話獣”を次々と送り込み、人間を捕獲していった。

人類は反撃を期して、海底遺跡から3機の“ベクターマシン”を発掘していた。かつて、墮天翅族を滅亡へ追い込んだとされる伝説の兵器である。ベクターマシンが合体することにより、“機械天使アクエリオン”が姿を現す。アクエリオンを動かすには、機械生命と感応・共鳴できる“エレメント”と呼ばれる人間が必要だ。それには鋭敏な五感や純真な魂が要求されるため、10代半ばの少年少女たちがパイロットとして集められた。

そして、ついにアクエリオンの合体するときが来た……。



(C)2004 河森正治・サテライト/Project AQUARION



【創聖のアクエリオン】スタッフ

原作：河森 正治、サテライト

監督：河森 正治

シリーズ構成：大野木 寛、河森 正治

アクエリオンデザイン：河森 正治

キャラクター原案：金田 榮路

キャラクターデザイン：藤川 太

コンセプトデザイン：okama

音楽：菅野 よう子、保刈 久明

バンダイ ホームページ <http://www.bandai.co.jp>
創聖のアクエリオン 公式ホームページ <http://www.aquarion.info>